

王女の定めを受け入れて子宮に悦びを刻み込め！
乳首開発/強制排卵/疑似射精/母乳噴射アクメ

お願い早く孕ませてえっ！
射乳排卵アクメを止めてええっ！

異世界聖女

～乳首アクメ 戴冠式・強制排卵種付け編～

私の名前はミスティ・フィオーレ
ブルメリア王国の王女となるエルフよ。

今日は待ちに待った戴冠式当日。
司祭様から黄金のサイドティアラを頂いて、
私もこの国の王女となった。

儀式は滞りなく進んでいく……。
今日を乗り越えさえすれば、
一先ず緊張から解放されるわ。

ではミスティ姫、
誓いの言葉を私に向けて――

はい、司祭様……。
いいえ、大樹の精霊様……。

ミスティ・フィオーレは
ブルメリア王国の王女として
森の民の為に精一杯尽くすことを
ここに誓います。

私は司祭にそう告げる。
何を隠そう目の彼こそが
この国三帯の大森林を掌握する
聖なる大樹の化身であった。

では早速……民に向けて言葉を。
では早速……民に向けて言葉を。

民に向けて……

……どうかしましたか？

ざわ
ざわ

いえ……顔を向けるのが恥ずかしくて……
子供頃から良くしてくださる
城下町の男性や、顔見知りの近衛兵たち
ばかりなんだから……

お気持ちちはよく分かります。
ですが姫様はご自身の立場を受け入れなければ。
皆が姫様の成長を喜んでいるのですよ。

私の成長ですって？
そんなこと、どうして言い切れるの？

民の心に耳を傾けなさい。
王族エルフの耳であれば、
民の本心を聞くことなど
容易い芸当のはず。

本心を聞く……？
考えたこともなかったわ。
私にそんな力があるなんて
知らなかった……。

さっそく試してみてもは？
耳に意識を集中させて――

おいおい何だありやあ!!
馬鹿みたいにデカい乳房してやがる。

しゃぶりついて
泣かせてえ!!

契約印の形やつべえ!!
どんだけマシ圧かけりや
あんなだけひしやげるんだよ。

あの型ですっ作るってマジ?
はやくハズして!!

乳首丸出して
恥ずかしくなえのか?

民の為に精二杯ねえ……。
確かに精を出すズリネタだわな!

あの巨大乳首凄いな。
まるでチンポじゃねえか。
勃起させたらどれほど
立派になるのだろうか。

恥ずかしがってるのかな?

こ……これは……?
民頭に直接声が聞こえる!!
民たちの心の声が……!!

民の考えていることが全て筒抜けでしょう。
歴代王女も皆この能力を使つて
民の希望を汲んで叶えてきたのです。

この場にいる男全員が姫様の
王女としての働きをひと見したいと――
その一心で集まっているはずだ。

そう……そうなの……。
でも司祭様、私わからないわ。
王女としての働きって……?

王家の血を引くあなたなら本能で理解しているはずですが、
あなたが与える大樹の生命力を使つて、
より多くの子孫をこの世に産み落とすことです。

でも今日は戴冠式なのに……！
まさかこの場で服を脱いで、
あなたとエッチしろとも言つたの？

そのまさかです。
皆あなたの性欲が弱いのではないかと
内心不安を感じています……。
王女として相応しい生殖能力があるのか、
定めを受け入れることが出来るのか――
女王の性欲がどれ程のものか……、
あなたの痴態をひと目見て安心したいと、
きつとそう思っているはずですよ。

はっ……んううっ……！
大勢の人に痴態を見せるだなんて――
恥ずかしくて泣いてしまひそうだわ……！

泣いてしまいそうですか……。母乳を滲ませて言う台詞ではありませんね。

はう……！
これはその、緊張で胸が張って……！

大勢の人に見られていると思ったり、それだけで興奮しちゃうの……！

いっお…

こ、これでも定刻通りに搾っているのよ？
三時間おきに扱いで、ミルク壺に射乳して、
日に一度のオナニーもすっかり励んでいるわ。

乳首が荒れないようにクリームを塗って、
しつかり手入れもしているつもり……。

日に一度のオナニーですか。
謙遜するのはよろしくない。
この乳房の反応を見れば分かりますよ。
本当は日に一度じゃ済まないでしょう。

あつ……うう……！

ふん……

嘘をついてごめんなさい……。
本当は二日に何度もオナニーしているの。
トイレのたびに乳首を弄って、カリカリ爪で引っ掻いて――

オマンコが切なくなれば人を払って部屋にこもり、
まだ明るい昼の内から枕に顔を押し付けて、
声を殺してデイルドでオナニーしています……。

村人や近衛兵たちが満足げに頷き静かに唸る。
静まりかえっていた広間は男たちの拍手で沸いた。

素晴らしいお言葉ありがとうございます。
姫様のオナニー……ぜひ一度お目にかかりたいものだ。
先ほどデイルドとおつしやりましたが、
そのような物を使っているのは本当の満足感など
得られないでしょう……。

どういう意味？
ちゃんと気持ちよくなれてるつもりよ？

満足感を得る為に本物のチンポが
欲しくならないのか……と聞いているのです。
ま、満足も何もないわ！
本物のチンポなんて元々知らないもの！

未経験なのは見逃せませんね。
私の前に膝を付いて座りなさい。
大勢の民が見守るこの場で、
本物のチンポを味わっていただきます。

チンポをこの場で……！！



私は言われるがまま
司祭様の前に膝をつく。

することは夜伽と同じです。
作法を覚えていますか？

大丈夫……。
王家に伝わる礼儀作法だもの。
忘れるわけないわ……。

服の上から股間を撫でて性器を探る。
穏やかに隆起したペニスに挨拶を交わし
手のひらで温もりを確かめる。

はぁ……♡

私がベルトを外しますから、
転ばぬよう足元に気を付けて
衣服を脱いでくださいな……。

いくら王女でも二度褥に入れば
殿方の立場が上位となる。
これが我が国の常識だ。

露出した性器に頬を寄せ、
鼻を鳴らしで臭いを嗅ぐ。
ムクムクと立ち上がるベニスに
私の期待も膨らむばかり……

いかげんかでしょうか姫様。
これが男の生チンポです。
初めてご覧になる感想は？

肉棒とはよく言ったものね。
頬を寄せるだけで熱さが伝わる……。
蒸れているからもつと汗臭いのかと
思っただけど夜明けの森のような
香りがするわ……

夜明けの森とは
はなやかな詩的なことを言う。
臭いと嫌がってくれた方がこちらと
しては興奮するんですけどね。

香りに関しては少しだけ拍子抜け……。
下手したら私のオマンコのが臭いかも。
もつとこう……甘酸っぱくて特徴的で……
オナニの後中指の香りを想像していたのに。
身体の外に出っ張っているからかしら……。
オチンポって想像よりずっと清潔なのかも。

あなたのオチンポ……口に含んで
舐めじやぶつても良いですか……？

私は舌でベニスを迎える。
亀頭は先走りに濡れて思いの他
ツルツルとした舌触りだった。

れるっ、んあ……ちゅぶ、ちゅぶ
んんう……舌で強く舐ると先つぽから汁が沁み出てくる。
先つぽ、あたたかくてコリコリした弾力があるのね……。

はああ……お上手です姫様——

いかがでしょうか……？
初めてのチンポの味は美味しいですか？

美味しいかですって？

んっ、ちゅっ、ちゅぶっ、んふうっ、ふう

ぶはっ……少し苦くて美味しいとまでは言えないけど、
不思議な気分になつてくるわ……。

男の弱点を舌で弄ぶ征服感というか……、
感じてくれたら嬉しいな……つて思ったり……。

ふふ、可愛いことを言いますね。
姫様の舌……小さい割にチロチロと動いて
とても気持ちが良いですよ。
吐息が熱くて心地いい……。

れっ

れっ

ちゅぶ♡

息が気持ちいいってほんと……？
ハア……、レロえロれロ……ハア……♡

暖かい……チンポの先から熱が全身に伝わるようだ。
すぐに実践する素直な所が健気で可愛らしいですよ。
素直と健気さは男の嗜虐心を煽りますからね……。
この先も、何事も正直な方がよろしいかと。

はい……素直になるよう努めます……。

いい子ですね——
では、そろそろ根本までしゃぶつてくれませんか？

ね、根本まで……。
も……ん……じゅるっ。

そう……歯が当たらないよう気を付けて。
ペロで下の歯を覆うように、少しだけ口を窄めて。

む……んっ……うぶっ——
先っぽが喉に当たって苦しい……!!
チンポが長すぎて奥まで入らないわ……!!

口に入れようとするから入らないのです。
喉に迎えるよう飲み込んでください。
亀頭から先を喉奥に納めるように——

ふう……ふう……分かったわ……。
少し怖いけどやってみる……!!

も……も……

おぐっ

んくっ、くっ……んうっ……ふっ
んおっ、お……！

ぐっ、くるしい……っ！
喉奥を圧迫されて戻してしまいそう……！

もう少しですよ、姫様。
カリ首が喉元を過ぎれば楽になるはずです。
グビグビと喉を鳴らして飲み下してみなさい。

喉を鳴らして飲みこむ……？
うう……今の苦しさから解放されるなら
いくらでも飲み込んでやるわ……！！

ちゅ
ん
ん
ん

ずず

んくっ、くっ……んうっ……ふっ
んおっ、お……！

うっ、うぶっ……んぐおおっ……
ふう、ふううっ……く……ううう……っ！

ぐうう……お、奥まで……入ったあ……
カリ首までぐっぼし飲み込んで……
喉奥までオチンポハメラれちゃってるううっ！

ぐびっ、くびっ、ごくっ、ふおっ、んおおっ……
すうっ、ふう、ぐくっ……ん、ふう……っ！

ああ……喉が勝手に嚥下を繰り返してる……！
唾内で暴れもがくチンポを抑えつけるように、
下品な音出してグビグビ飲み下しちゃうっ！

ううっ、収縮して搾り取られる！
手練れマンコのような喉じゃないか……！！
姫様……っ、少しだけ堪えてくださいよ！

おごっ！ ぶっ、ぐぶううっ！
おげえっ、オエツ、んぐほおおっ！

ああっ、やめて！ 何をするの……？
そんなに激しくピストンしたら喉が壊れる！
おぐう、うおおっ、ぐるちいっ……！！



ぐつ、んおおう、……つ、ん……んぐふううーつ♡

オ
グ
ン

ズ
ゃ
く
ん

ちやんこ

ニッポン

トドメと言わんばかりにベニスが喉を突いた。途端に熱い汁がドビュドピユと喉奥に迸る。溢れる前に飲み干そうと必死に嚥下を繰り返すが射精の勢いは二向に収まらない。

おぶっく、んおほおっ
もう飲みきれない……ザーメン、あぶっ、れる……ウっ♡

初めての生チンポ……賞味いただけましたでしょうか？
これがあなたのマンコに注ぐ男の精液……
あなたの子宮をしないと汚すザーメンのお味ですよ。

がふっ……♡

グブッ、ゴクっ、んん……♡
これが生チンポの味っ♡
ドロドロの搾りたてザーメン、
お口いっ……ばい満たされて♡

ほら……口からどんどん溢れていますよ。
精液は雌にとって大切なものです。
よく噛んで味わってミルクのように飲み干しなさい。

そ、そうね……大切なミルクだものね♡
グチュ、グチュ、グチュ……ごっ、ごっ、ごっ♡
ふううっ……よく……噛んで味わわなきゃ♡
グチュ、グチュ、グチュ……ごっ、ごっ……ゲフウっ♡

うわぁ……なんてはしたない……
精液飲み干してゲツブなんて出しちゃった♡
クツクツイ香りが鼻から抜けて目に沁みる……
あうう……なんて堪らない後味なの……♡
こんなの味わったら胸がパンッパンに張っちゃううう♡

口の端や陰茎に垂れた分まで舌で拭うのがマナーです。
感謝の心を忘れなければ多少時間が掛かってもかまいません。
チンポをしゃぶらせて頂く……ということを念頭に置くのです。

ふーっ♡ふーっ♡
言われなくても分かっているわ……！
今日が初おしゃぶりののよ……？
まだこれからよ……毎日毎日、しっくく♡
何度もしゃぶって慣れていくんだから♡

べろっ……れるえろれる……♡
ちゅばっ、ちゅ……ぶはあっ♡
はあはあ……♡

ザーメン……ごちそうさまでした……。
とっても濃ゆくて……っ、美味しかったです……!!

ご満足頂けたようで良かったです……。
あまりの気持ちよさに負けてしまい、
すぐに出してしまいました……。
いやはお恥ずかしいかぎりです。
次は長く持たせられるよう努めますね。

いえ、大丈夫……それよりも
一旦ここから退場しても良いかしら……？

おや、落ち着かない様子ですね。
一体どうしたと言うのですか？

胸が……胸が張って苦しいの……!!
ザーメンを飲んだせいで興奮しちゃって……♡

乳首が疼いて仕方ないわ。
一旦お外かトイレで射乳したい……!!
あなたの後味が残っている内に……♡
乳首オナニーで軽く何度かイキたいの……♡

はっ♡

はあっ♡

はあっ

ドロオ…ッ

ああー……なんて淫らではしたない。
完全に淫乱な雌へと切り替わっていますね。
そんな発言して恥ずかしいと思わないのですか？
城下の民や近衛兵たちが動揺していますよ？

はあっ……はあっ……ごめんなさい♡
でももう我慢が出来ないの!!
お願いします……私の乳首を弄んで……♡

恥をかなり捨てて懇願したその瞬間——
試験の森で見た大樹の触手が何処からともなく
現れて、私の四肢を強引に絡め取った。
服を剥かれて大勢の前で身体を曝け出す。

ああ……っ、司祭様！
此処で触手なんて出したら
城下町の人たちが驚いてしまうわ！

この時点で私は違和感に気付く。
誰もこの状況に驚いている様子はない……。
ニヤニヤ笑って私の身体をジツと
見つめているだけだ。

おいあれ見ろよ。
下着が濡れてクリの形がクツギリだぜ？

マンコの中心に滲んではるのは愛液か？
濡れすぎで下着が機能してねえじゃん。

あ、の乳首、すげえ弾力だろうな……。
指で摘まんで捏ねくりまわしてえ。

どうしましたか姫様。
そんなに驚いた顔をして？

はあ……はあ……、どうしてなの……？
みんなこの触手を見て恐ろしく思わないの？

どうでしょうね。
初めて見るならば——
恐ろしく感じるかもしれませんがね。

はじめて、見る……ならば……？

私はこの時やっとな理解した。
司祭様が大樹の精霊であることを
知らなかったのはこの国で私だけだとい
うことを……。

そして同時に思い知る。
この国の真の支配者は司祭様——
目の前の彼なのだという……！

王家の心眼でご覧なさい。
あなたの子宮に排卵を促す
催淫汁を注いであげましょう。

んうっ……く……!!
お腹が少しだけ痛いっ!!
卵巣が疼いて苦しいっ!!

それは排卵痛です。
姫様の卵巣が卵を産む準備をしている
れっきとした証拠ですよ。
排卵が始まれば痛みは快楽に変わります。
ほら、クリトリスがコリコリに勃起してきた。

アクッ、あつ、ああんっ!
クリの皮、そんなに乱暴にひん剥かないで!
剥き癖付いたら普段からズル剥けになっちゃう!
敏感なんだから優しくしてよおっ!

乳首が勃起きつてがパンパンに張りつめてる。
排卵と共に射乳開始といった具合でしょうか。

う……うそ……射乳と排卵を同時に……?
ああつ、そんなのいや……!!
射乳だけでもイクのに卵まで産んだら私

あつ、あああつ、子宮が熱くて苦しい!!
乳首イク……卵出る!!
ひふッ、ふうっ、んっ、くおおおっ!
たい卵……産まれる、うウっ♡





あつ、あんつ、あつ、あつ♡
イク、イクイクイク♡

乳首コリコリ、クリトリスかりかり……っ♡
んひいいイクメ重いいつ、3点責め排卵イクメ♡
子宮に卵満たされりゅ♡

ああ、イクイクイク♡
乳首弾くと軸に響くうっ！
優しくしてえ、先っぽ刺激が
鋭いんだからあ……っ！

クリトリスだって弱い♡
根本シコシコ扱かれながら
先っぽ刺激されると潮吹いてイク♡

さすがです姫様。
瞬く間に子宮が卵子で満たされました。
これだけあれば精霊を煽り迎える。
疑似射精の儀も問題なく行えます。

せい、精霊をあとゆ……っ。
疑似……射精……？
おつ、あつ、あつ、またイクゅ♡
いきむからオマンコ圧迫してえ♡
おほっ♡ おつおつおつ♡

特大アクメをキメる寸前
私の性器から触手がズルリと引き抜かれた。
行き場を無くした快感が乳首を更に奮い立たせる。
限界まで引き出されたクリは根本までぐまなく
扱き磨かれ親指大の屹立へと変化していた。

はあ、はあ……あえ……？
なんで……あと少しかったのに……、
オマンコ、抜いちやったの……？

これから行う疑似射精において
異物は邪魔になりますから。

疑似射精って何……？
私が……するの……？

姫様には今から子宮を産んでもらいます。
乳首の先端に芯棒を挿入して軸を突くことで
乳腺を直接刺激し、産みを促進させるのです。

う、産むですって？
子宮を体の外に……？
そんなことして大丈夫なの？

どの王女も皆等しく経験していますから。



うあつあんツ！
ちよ、ちよと待つて！
本当にこの棒を乳首に突き刺すの……？

もちろん——
怯えなくても大丈夫。
芯は必ず乳首奥底の軸で止まります。

あッアッアッ、どんどん入ってくる！
信じられない……まだ先端しか
入っていないのに既に気持ち良い……っ！
嘘……あんっ、駄目、だめだめだめっ！
こんなの奥まで挿入したら駄目えっ！

11/70...♡

12♡
13♡
14♡

70♡♡

71♡...

軸って乳輪に埋まつてるのよ？
そんなに奥まで入れるなんて！
まるでオマンコじゃあるまいし！
挿入だなんて馬鹿じゃないの？！
私の乳首はクリ以上に敏感なのに！
そんな乳首をオマンコのように
扱われたら……私もう……

理性のタガが外れて馬鹿になりますか？
面白……いいでしょう？
共に心の眼を開き、挿入の瞬間を
見届けようじゃありませんか。



お、おおっ、く、ううんっ♡！
はふ、ふっ、んふう、う……ぐ……ああんっ♡

はっ、あん、はっ、はあっ、あんなう♡
はうううん……す、す……いい！
ホントに軸まで届いちやったあ♡

胸の奥が切なくて堪らない！
鼓動する度にイク、イクうう！

はあ、はあ、はあ、乳首イキ、乳首アクメ♡
イクのずっつと止まらないよおおっ！

みっ♡
みっ♡
みっ♡
みっ♡
みっ♡

ズグッ♡
ググッ♡
ググッ♡

ズグッ♡
ググッ♡
ググッ♡

ああ、気に入ってくれたようで良かった……。
姫様……お気づきでしょうか？
あなたのいきみマンコから可愛らしい
子宮口が顔を覗かせていますよ？

ふう、ふう、ふ……うううっ！
イキ潮吹く♡止まらない♡
苦しいのに……無意識にいきむ……っ！

はあ、もう……駄目っ……
乳首の軸……何度もジユクジユク突かれて
完全に犯されちゃってる♡
重い快感が乳房全体に伝わって♡
子宮がキーンキーン降りてきちゃうう♡
はあ、いきみたい♡いきみたい♡
産む♡産む♡子宮産んじやううっ♡

うあああつ！
しっ、子宮出りゆううーっ♡
かはっ、あつあああんっ♡

おめでとうございます！
一息に根本まで捻り出して
くれましたねえ！

いや……いやよ……！
先端に汁を滲ませて、
これじゃああるで男の
オチンポじゃない……！

はひっ、はあっ、はあっ……！
あああ……母乳が……！
誰か……誰か……母乳吹いてる
乳首アクメを終わらせてええっ♡

そう簡単にはいきませんよ。
継続アクメを終わらせるには
子宮内に満ちた卵子を全て体外に
排出しなければいけません。

体外に卵子を……！
まさかこの子宮チンポを
扱くんじゃないでしょうね！

ははは御名答——
察しが良いじゃないですか。
常人には到達し得ない発想に
無事行きつくとは……！
姫様もとんだ変態になったものだ。

あんっ……き、鬼畜ウ……っ♡
へ……変態つて言うにやああっ♡

ご謙遜なさらず。
話が早いのは良いことです。

んぎいいっ！
刺激が強いっ！
そんなに激しく
シコシコしないでえっ！

いかがでしょうか？
敏感な膈壁を擦り上げられる感覚は
扱きに合わせて母乳が進っていますよ。

はあ、あうう、ほんと……
ずうつと勢いが取まらない……！
母乳を吹くのが前より気持ちいいっ！

芯棒を挿入したおかげでしょう。
母乳の軸と乳腺が以前よりも開発されて
母乳の出が良くなったんだと思いますよ。

くううつ、母乳吹くたび感じるう……！
乳首がイクとマンコが疼く！
はあ、はあ♡ ポルチオがイクそう♡
このまま扱かれたらイク♡
ポルチオから卵子ミルク吹く♡
はあ、あんつ、ああんつ、んううつ♡
お願いだからストツプして！
触手の動きを止めてええ！♡





おっ、おっ、おほおほ！ すっごー……オっ♡
でりゅっ、射精♡ おチンポおっ♡
これが……♡
母乳吹きながらの
排卵射精……♡、かはあっ♡

おお出た出た、もの凄い勢いだ。
気持ち良さそうで何よりですね。

んひいいいっつ！
ぎもぢいなんでもんじやないわあ！
こんな快感はまるで暴力よおおオッ♡

びゅっくんびゅっくんザーメン出りゅうう！
アッアッアッ止まらないいっ♡
母乳吹く♡ 射精する♡
オスイキ♡ メスイキ♡
あんっ、おっ、おっ、おっ♡

はあああグイグイグイグイ……♡
お願い早く孕ませてええっ！
射乳排卵アッオッを止めてええーっ！
オチンポイッグウっ♡♡♡イグッ♡

それから何時間アクメし続けただろう――
いくらイツでも排卵は延々と続く。

子宮内の卵子を全て出し切るまで夜をひとつ悠々と超え、
広間にいた大勢の人々はいつの間に消えていた。

私の理性は完全に吹き飛び込んだ。
自らの戴冠式という事実も忘れ、
本能と快楽のまま喘ぐだけの肉便器となり果てていた。

ここから先は私がまだ知り得ない領域――
あなたの目線から私を犯す物語となる。



「一晩にわたり扱き磨き上げられた私のポルチオは
男の種付けを望んでいるのに屹立としていた。
子宮口から愛液が物欲しそうに滲んでいる。」

ハア...

ガ... ガ...

ハア...

あなたはジツとそれを眺めて
時折フウと息を吹きかける.....

敏感な子宮口の鈴口に冷たい風が当たる。
私は快感と肌寒さでゾクゾクと身震いした。

っあぐんはあ...んんう...

おや姫様...。
お目覚めになりましたか。

ここはどこ...戴冠式は？
私は一体何をしてるの...？



戴冠式は既に終わりました。
恥辱と快楽に溺れる姫様をご覧になられて、
皆様とても満足して帰られましたよ。

あんっう...ポルチオに何か当たってる...！

ああ...これですか？
生殖機能の確認を終えたので再び
子宮を収めようと思っています。



んっ、おお、重い……♡
ポルチオの中心、強く押さないで……♡

いきまないで脱力しててくださいね。
中心から慎重に戻さないと奥まで入りません。

ズッポ……ッ

ズッズ

はあ、はふ……あなたは簡単に言うけど……！
感じながら力を抜くのが、難しいのよ！
切なくて堪らなくて苦しいんだから……！

動かなければ何をしても良いです。
大声出して感じてくれても結構。

あうっ、んっ、あっ、あっ、あんっ♡
はあはあっ、なんか変……快感が鋭くて重いわ……♡
触手と違って子宮に掛かる圧が強い……ううっ♡

何を勘違いしてるのか知りませんが——
皆様……これは男女のセックスですよ？
チンポは触手のように器用じゃありません。

体重をかけて蜜壺に杭を突き立てる——
チンポはマンコに遠慮も配慮もいたしません。

んおおお……！
オチンポ……中でソリソリ擦れるう……♡
これ以上の挿入はもう……ああんっ♡

なにを弱気なことを言ってるんですか。
まだ先が少し入っただけですよ？





0
くわいちゃん♡

ひつぎ♡いん♡ア、ア、あつ、ああ♡
重♡...♡くつ、ん♡ん♡お♡お♡う♡♡

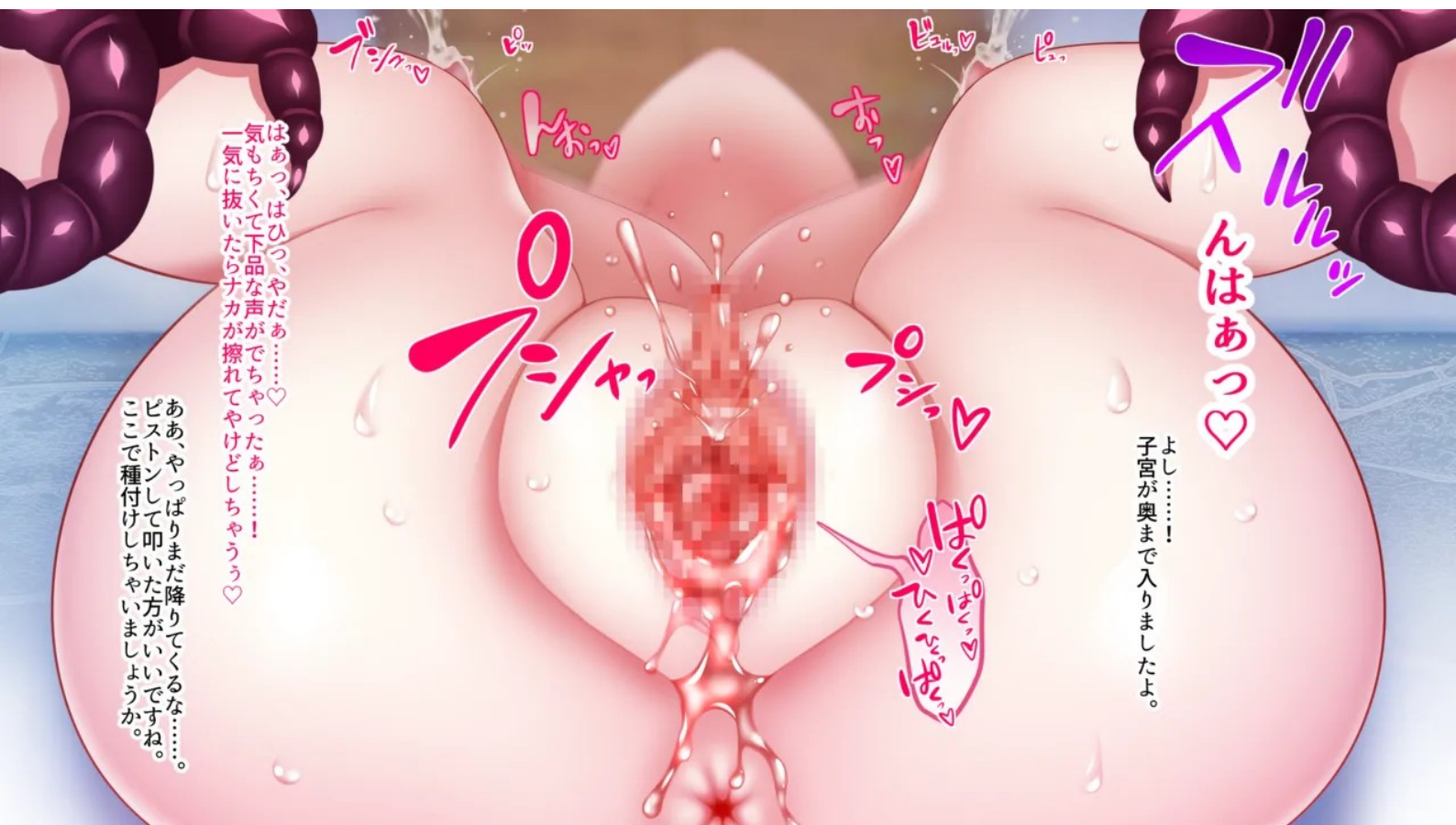
お♡お♡♡お♡お♡♡
奥♡奥♡♡あ♡あ♡♡
オチンポ♡お♡お♡♡
お♡お♡♡お♡お♡♡

嬉しそうですね。
ん♡ん♡♡ふう...!!
確かに奥♡奥♡入ったかな...??

♡
グッ♡♡

♡
ん♡♡

♡
ん♡♡



はあっ、はひっ、やだあ……♡
気もちくて下品な声がでちゃったあ……♡
一気に抜いたらナカが擦れてやけどしちゃう♡

ああ、やっぱりまだ降りてくるな……。
ピストンして叩いた方がいいですね。
ここで種付けしちゃうまいようか。

よし……！
子宮が奥まで入りましたよ。

んはあっ♡

ズルルッ

はあ、はあ、種付け……？
種付けつて、赤ちゃんを仕込むの？
私とあなたの赤ちゃん……！

そうですよ。
姫様の命と精がある限り、
私の子供を大勢産んでもらいます。
今一度感じ入りなさい。
大樹の精と契り直々に種付けされて
魔の子を宿せる喜びを――

ああ……薄っすらと気付いていたけどやっぱり――
この国を真に掌握してはあなただつたのね……。
王女というのは建前で……私はあなたの肉便器……。
この国は最初から……女性君主の国なんかじゃなかったんだ……！

フハハハハッ、さすがは姫様だ！
自分からの良い女は嫌いじゃない。
自らの境遇を恥じることはありません！
過去には弄ばれていたことに気付かぬまま
生涯を終える者もいたのですから！

あふつく……つ、うう……！
はあつ、はあつはあつ……♡

ぐちゅ♡

グッ

グッ

ぐちゅ♡

ぐちゅ♡

ズ
ズ

ああ可愛い——
姫様のポルチオはコリコリしているながらも柔らかいですね。
亀頭で乱暴に挟り犯すと愛液がどんどん滲んでくる……！！

じゅあ……

ぐちゅ♡

ぐちゅ♡

グッ

ぎゅ♡

グッ

アハハ

深い……深いわ♡
鈍痛にも似た重い快感がオマンコから背骨を駆け巡る……！
ああつ、はあ……切なくて腰を抜かしそう……♡

はちゅ



お
お
お♡

1つ4つ

[illegible]

ちや
ちや
ちや
ちや

1st year

1st year

し
お
お
♡

ちや、
ちや
ちや

150

熱い♡♡ チンポ擦れて熱いのお♡
オマンコで奥突かれるたび♡ 何度も何度も軽イキするうつ♡
アツ♡アツ♡アツ♡イク♡マイっ♡ あっ♡あっ♡あっ♡あっ♡あん！

だんご
ブタ

7¹¹ 7₂♡

かき

いっしょに♡
みんな、

よろしい……ではしつかり受け取るのですよ！
この国とエルフの——繁栄を祈りながら！

ちゅぽん

ふん

んっ、ああんっ♡
どうして……っ、なんで抜いて——

おらっ！ イけえっ！

ズンッ

トッ

Enim

Enim

オッ
イッ
Enim



かはっ、……あっ、ふうっ——
おっ、おっ、おっ♡ お……おほっ♡

はあ……はあ……ッ♡
しゅごい、オマンコの奥
どびゅっ、どびゅっで注がれるう……♡

ぐん、

イッ……♡

トッ……

イッ……♡

あ……

トッ……

ぐん、

トッ、

ぐん、

イッ……♡

トッ……

ふう、ふう……搾り取られる……！
気持ちいいですか姫様……！

はひいっ、気持ちいい♡
はあ、はあ、中出し最高、チンポ最高、セックス最高ッ♡
こんなの絶対……孕んじやつでるからあ……♡

ぐん、

トッ……

ぐん、

イッ……♡

トッ……

はあ、はあ、私も姫様を抱けて嬉しく思います。
さて……出し切ったことだし抜きますよ姫様。

あうん♡
まだハメたい♡……♡
抜いちやうなんて寂しいよお……！
ずっとこのままハメていて欲しい♡……♡

あん♡
抜くと
熱い……♡

あ……♡
ア……♡
ア……♡

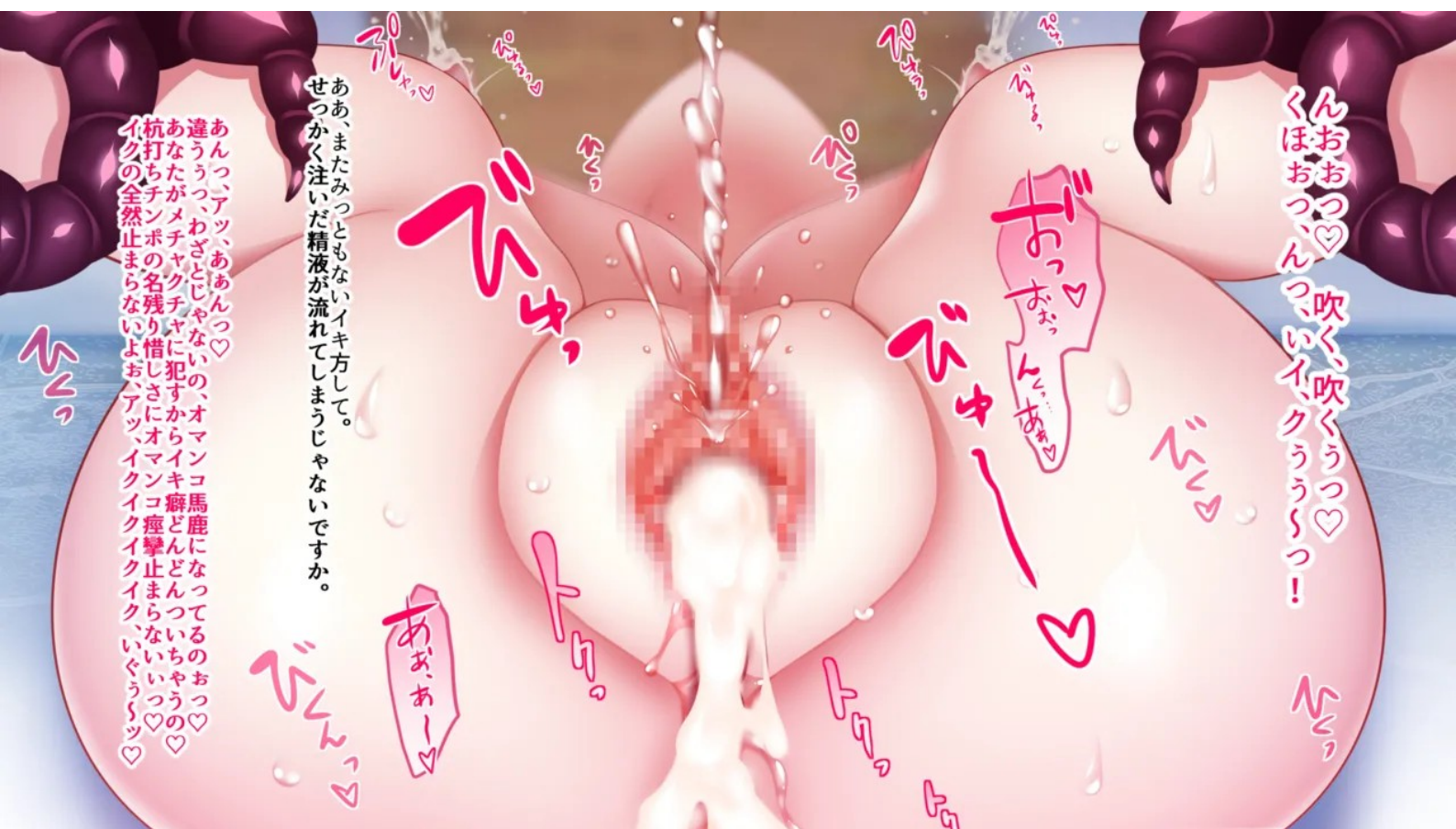
あ……♡

ん……♡
あ……♡
あ……♡

ズ……♡
ズ……♡

ご冗談でしょう……？
やらなきやいけない公務や仕事や沢山あるんですから。
姫様もお疲れでしょうから——
身体を清めて食事を取って、
お身体をゆつくり休めてくださいね。

あっ、あん♡
待って……そんなに勢いよく抜いたら——





こうして無事に戴冠式を終えた私は、晴れてこの国の王女となった。

王女と言っても真の姿は男のチンポに堕ちてしまった肉便器。

乳首アクメしながら射乳する雌豚。

淫らに潮をまき散らし、快感に喜ぶ下変態エルフ……。

人智を超えた強制排卵は私の理性を簡単に狂わせ、
私は日々、あなたからの種付け孕ませセックスを望んでしまう。

けれど……これでエルフの繁栄は約束されたも同然——
これからの日々が楽しみで仕方ないの……!!

私いつばい子供を育てるわ……。
孕んで、産んで、セックスして、また孕んで……。

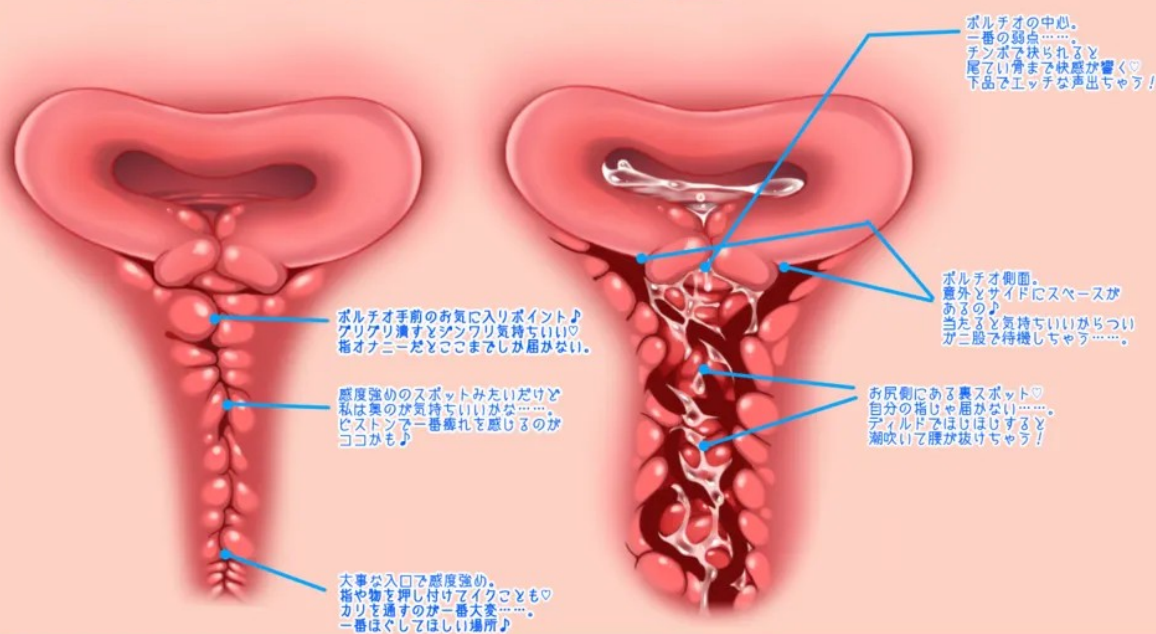
こんなにも愛にまみれた生活、きつと幸せに決まってる。

あなたに犯されてイク内に……私気付いてしまったの。
この愛こそが……王女としての母性の根元だということを——

製作・OneDlica
イラスト&シナリオ・Maromi

※制作資料を限定で大公開

♡ミスティの断面設計図♡

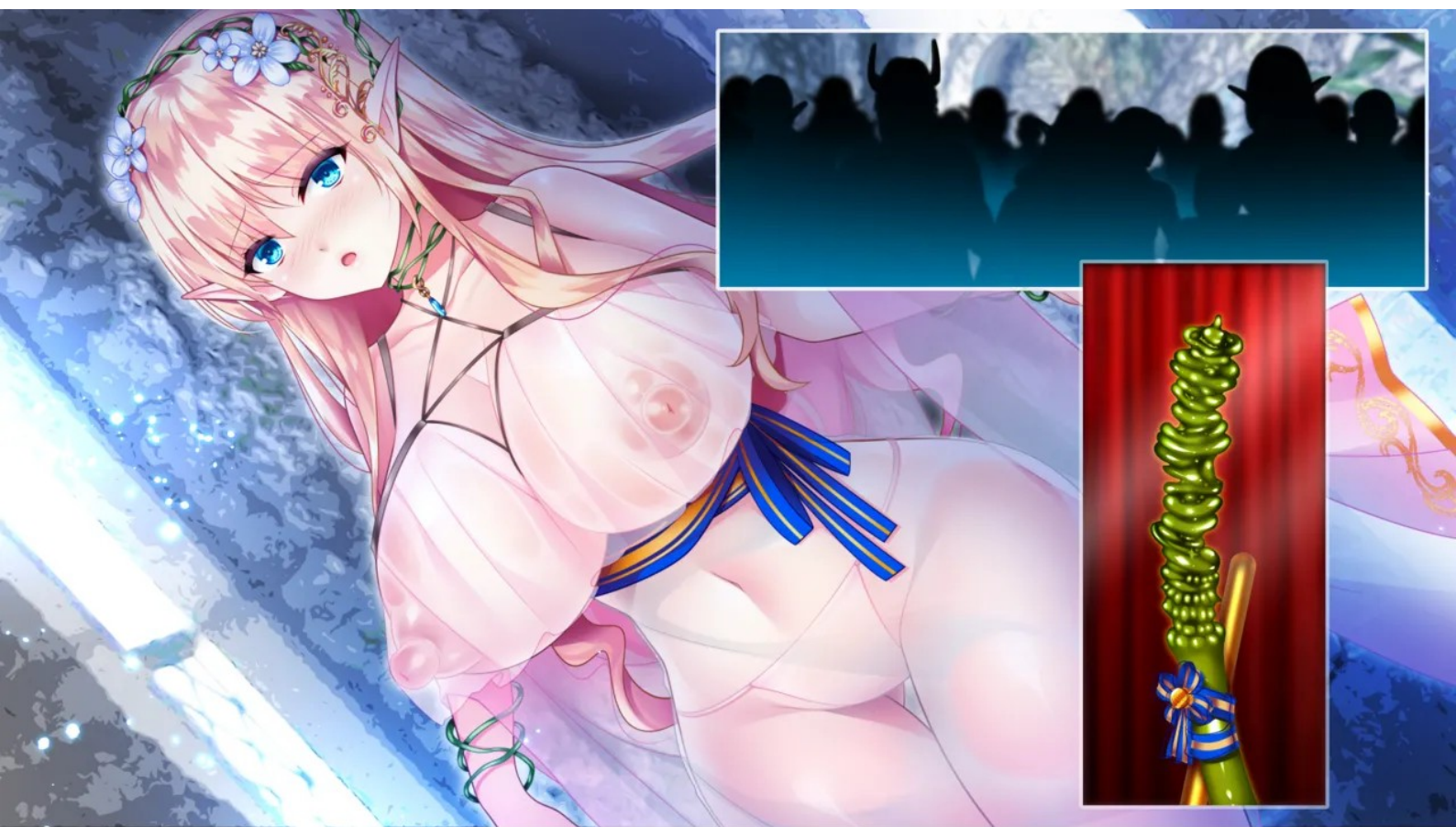


身体の相性がいいと先端がボルチオの中心に、カリがお気に入りポイントにハマる♡

※注意※
ミスティ姫にのみ適用する情報です。
本作はフィクションです。



















































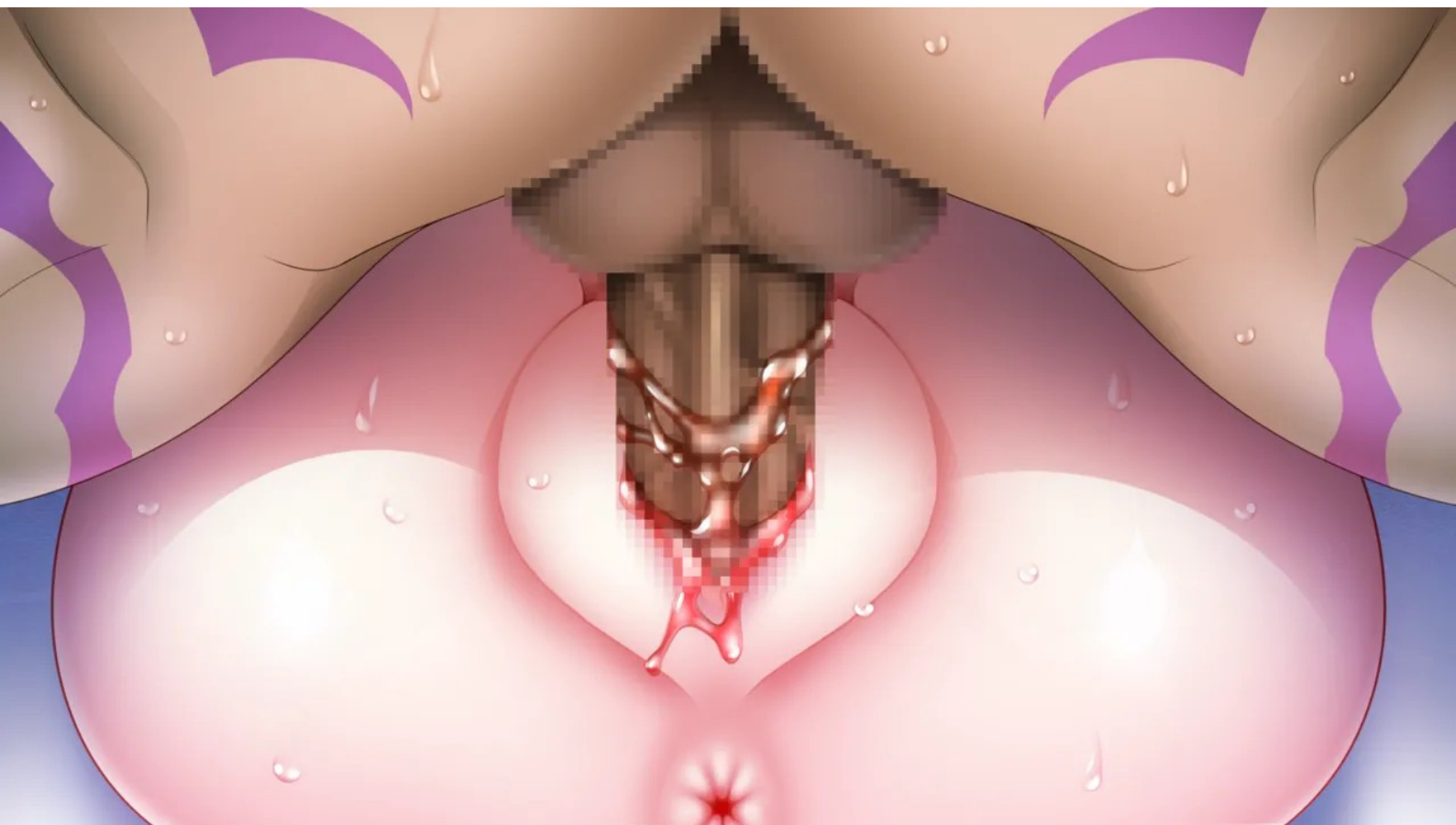


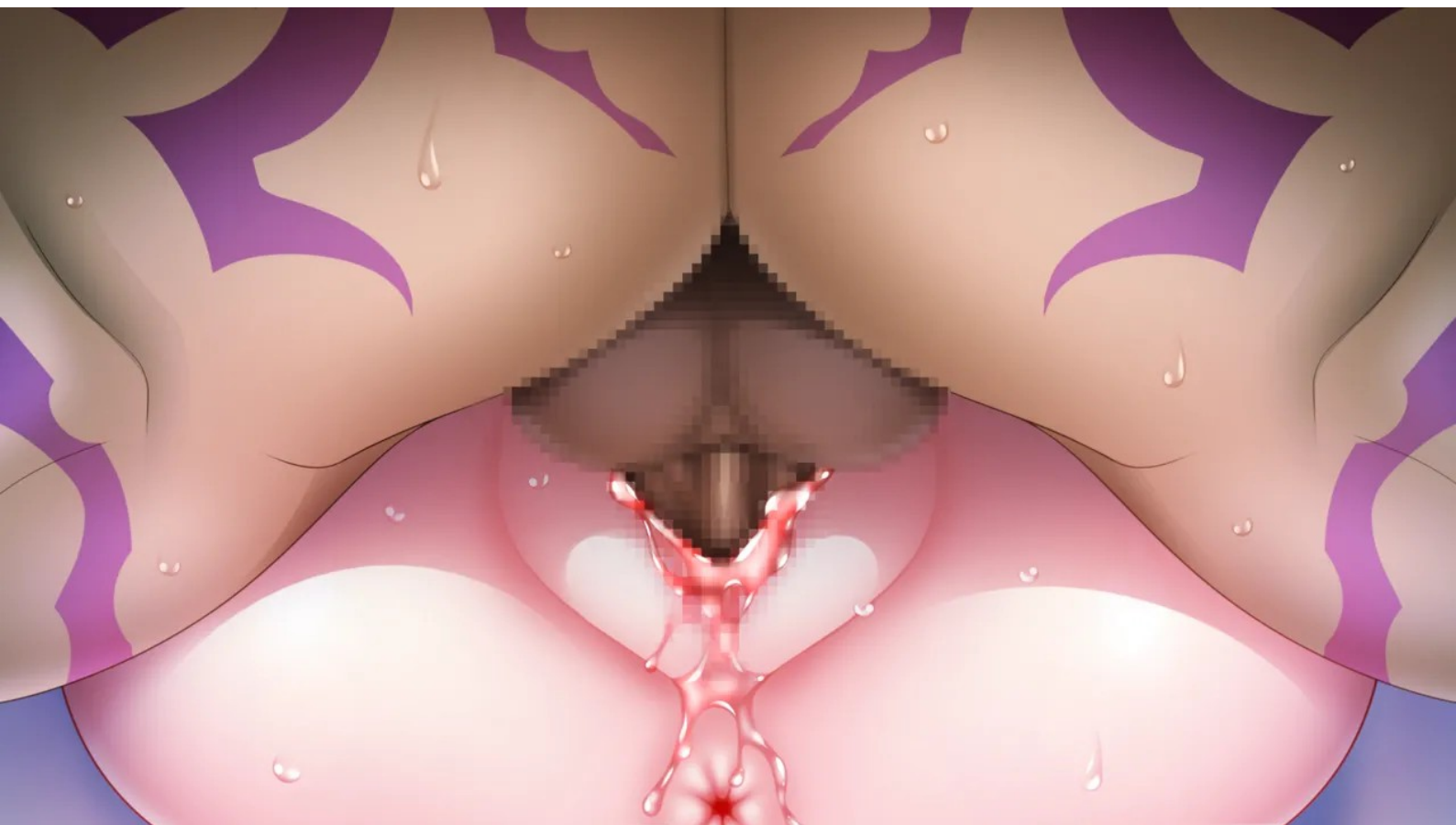


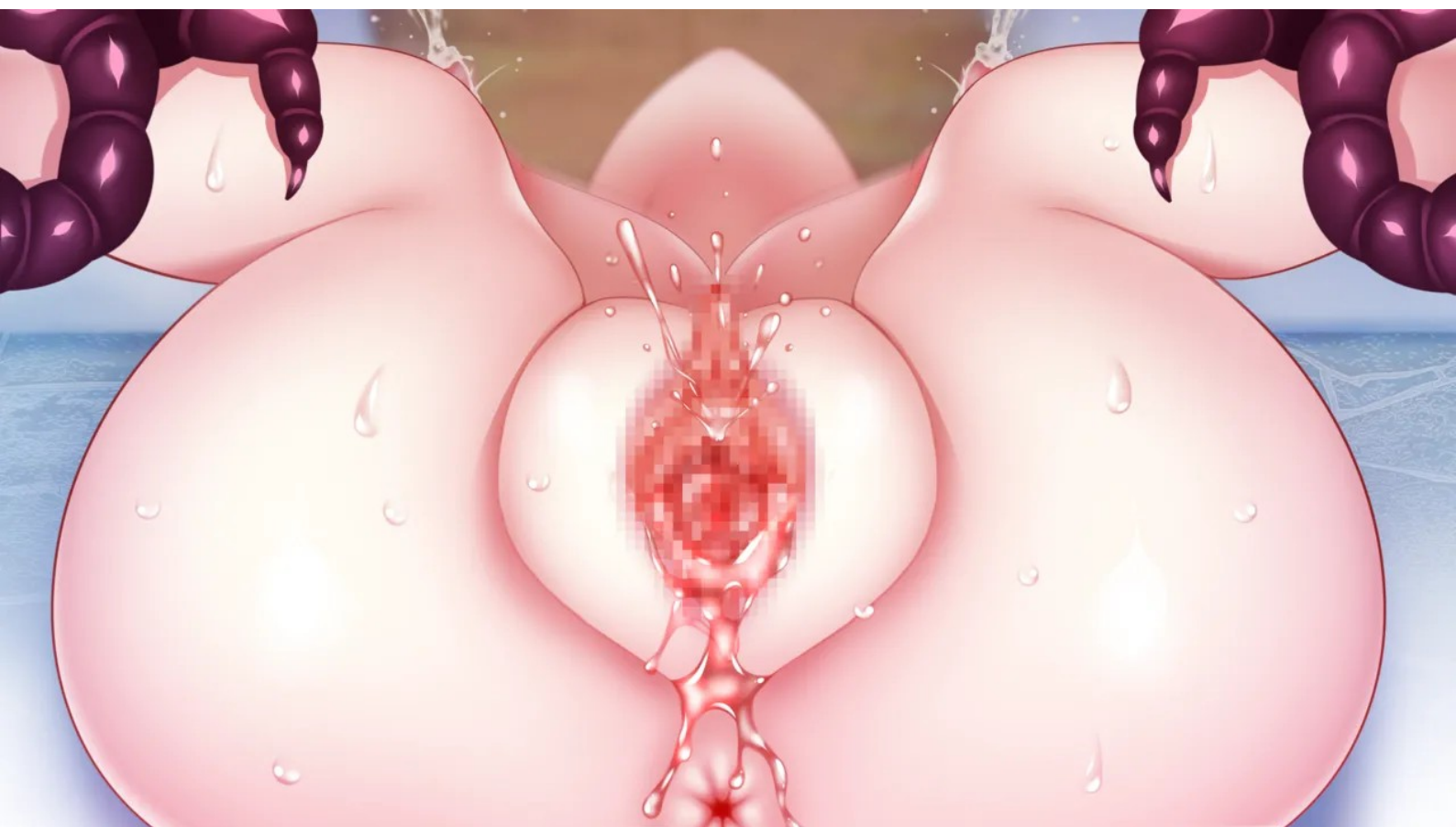


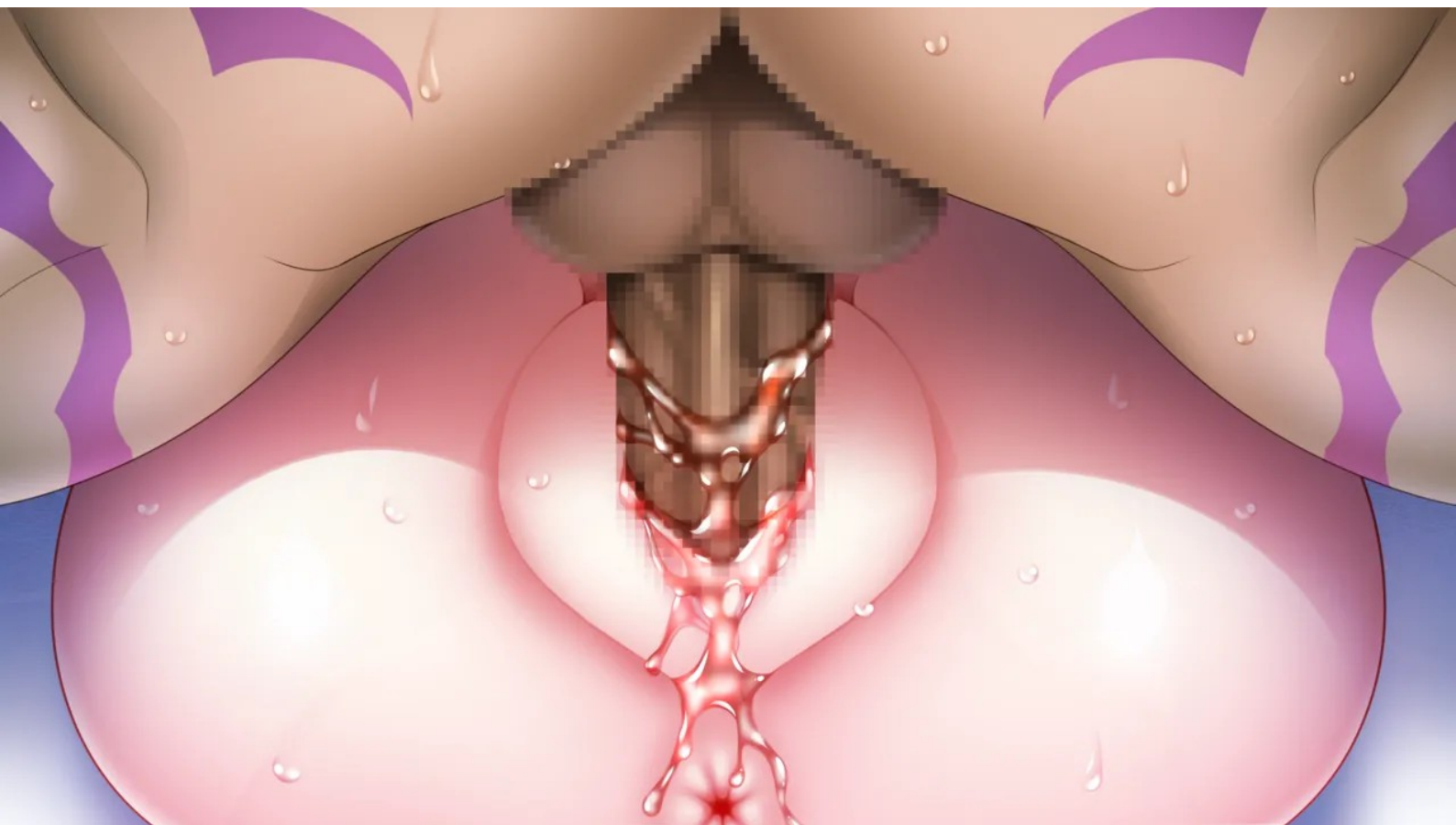


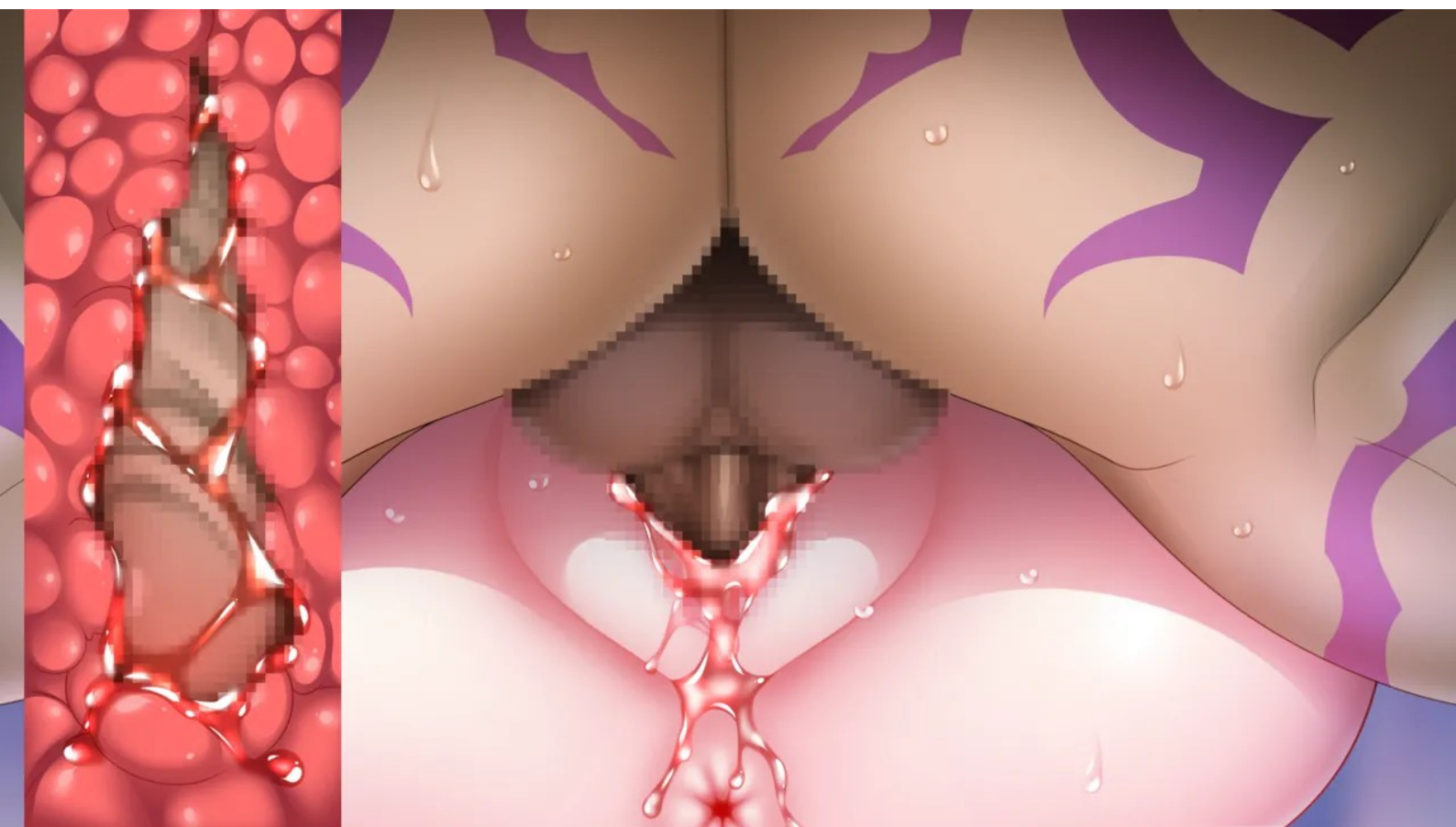


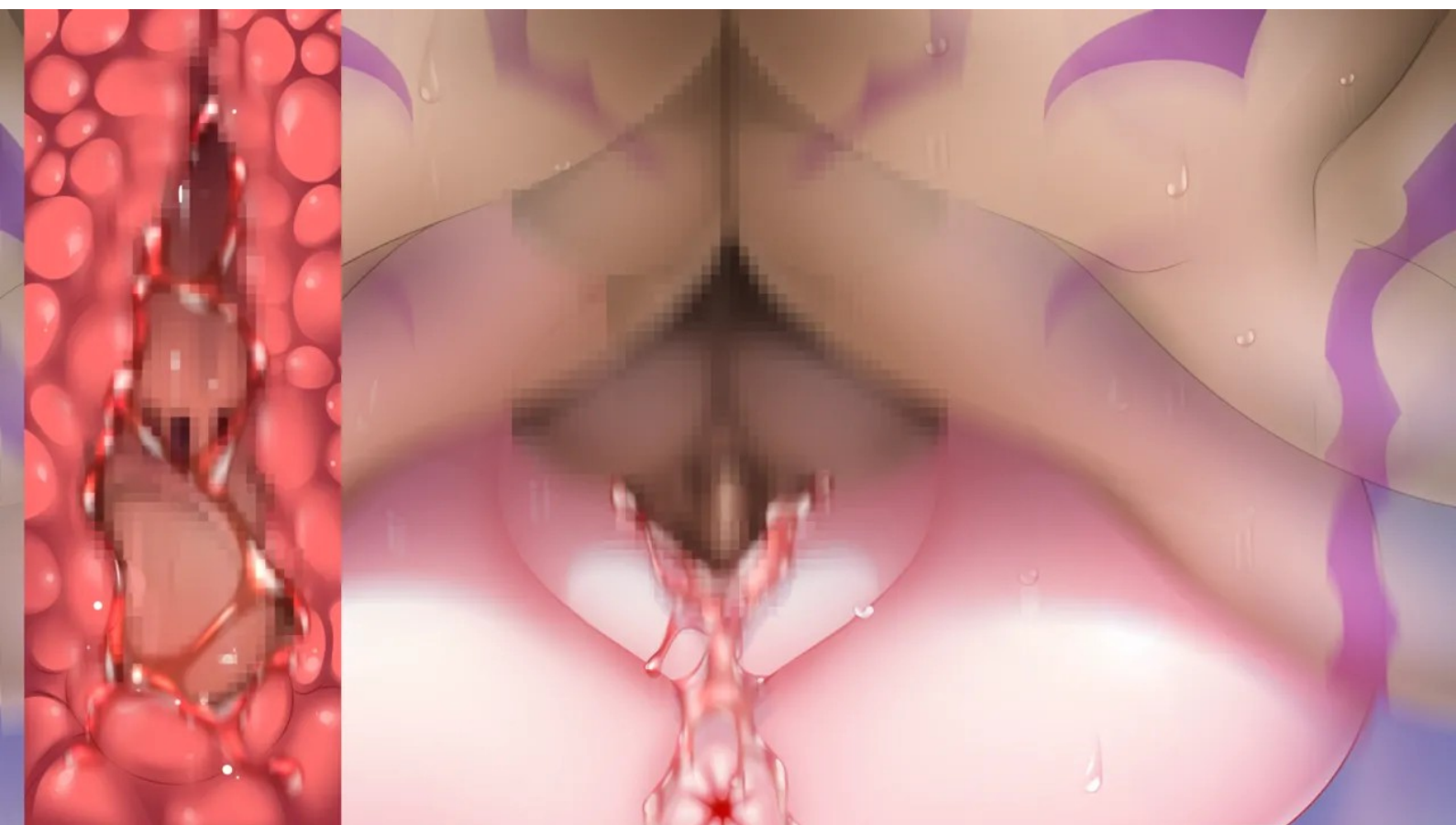


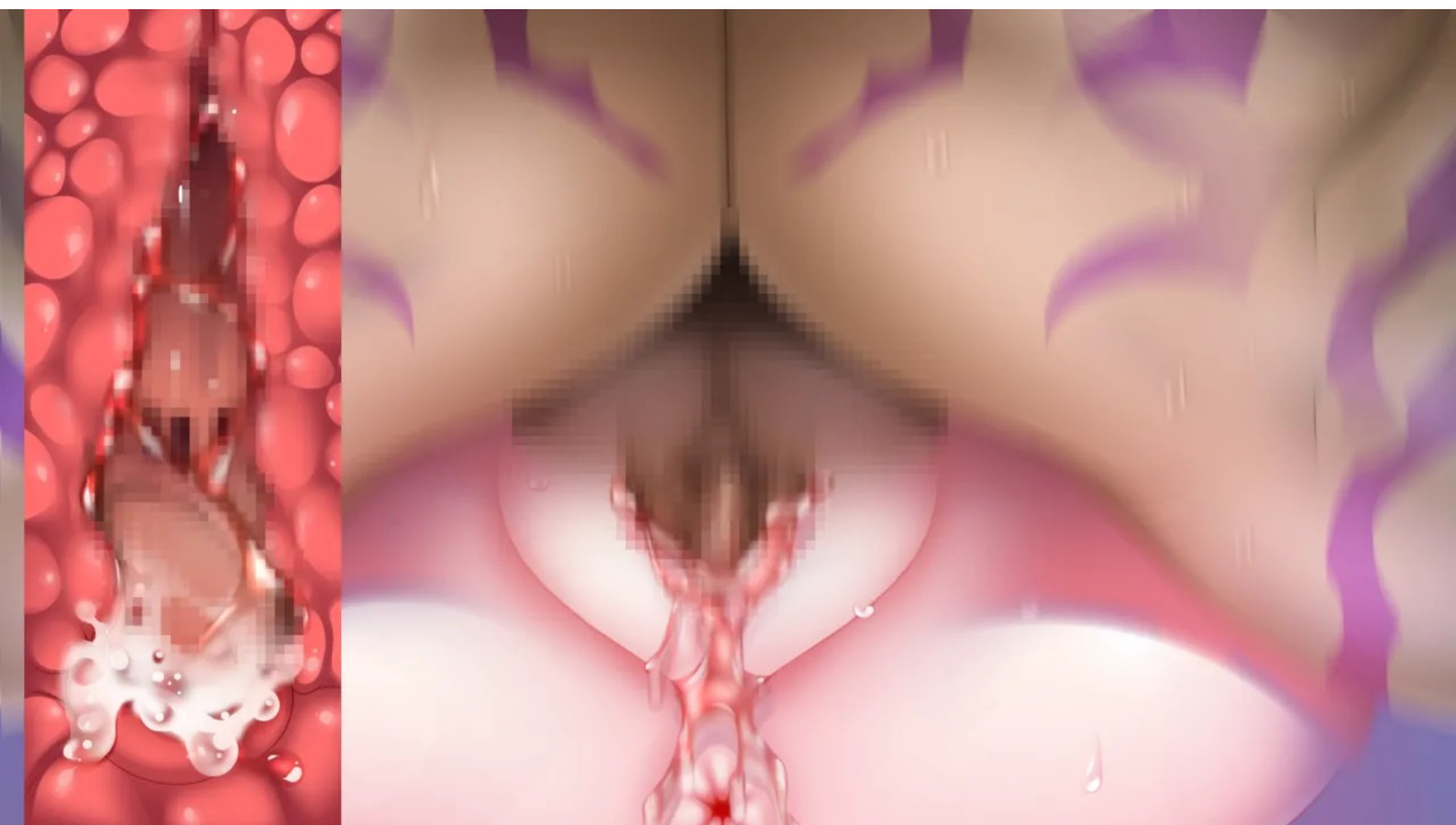






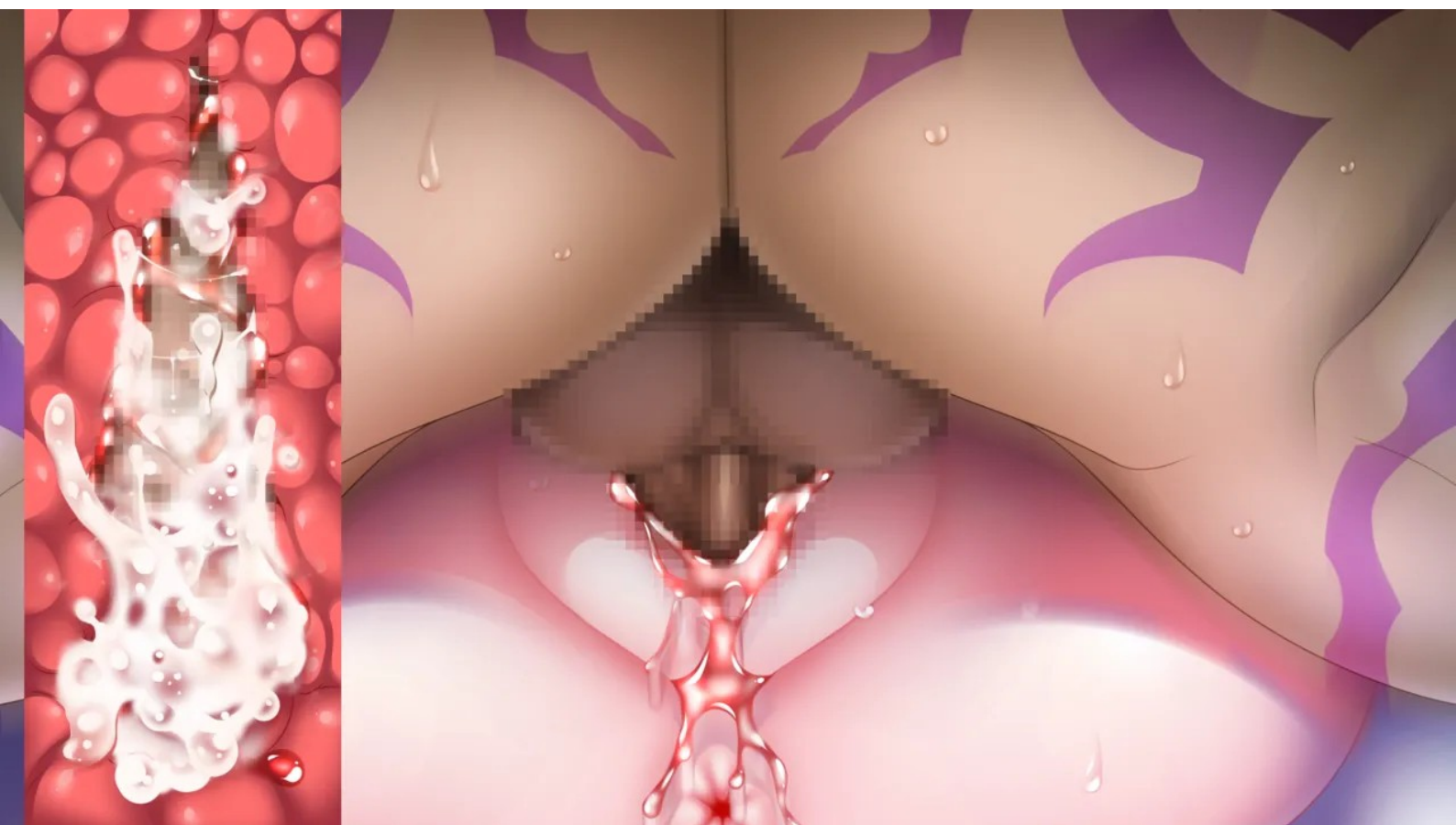


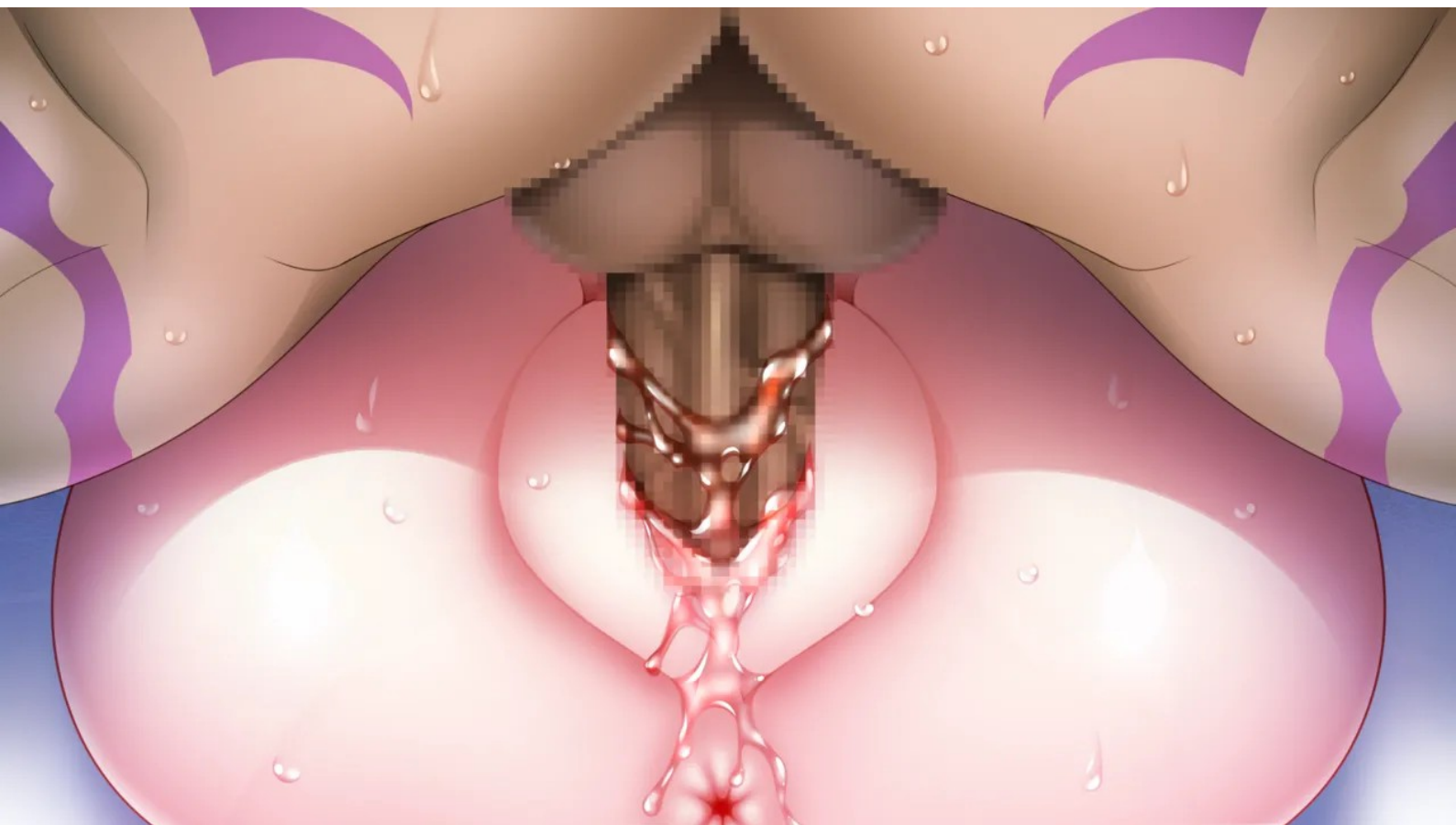




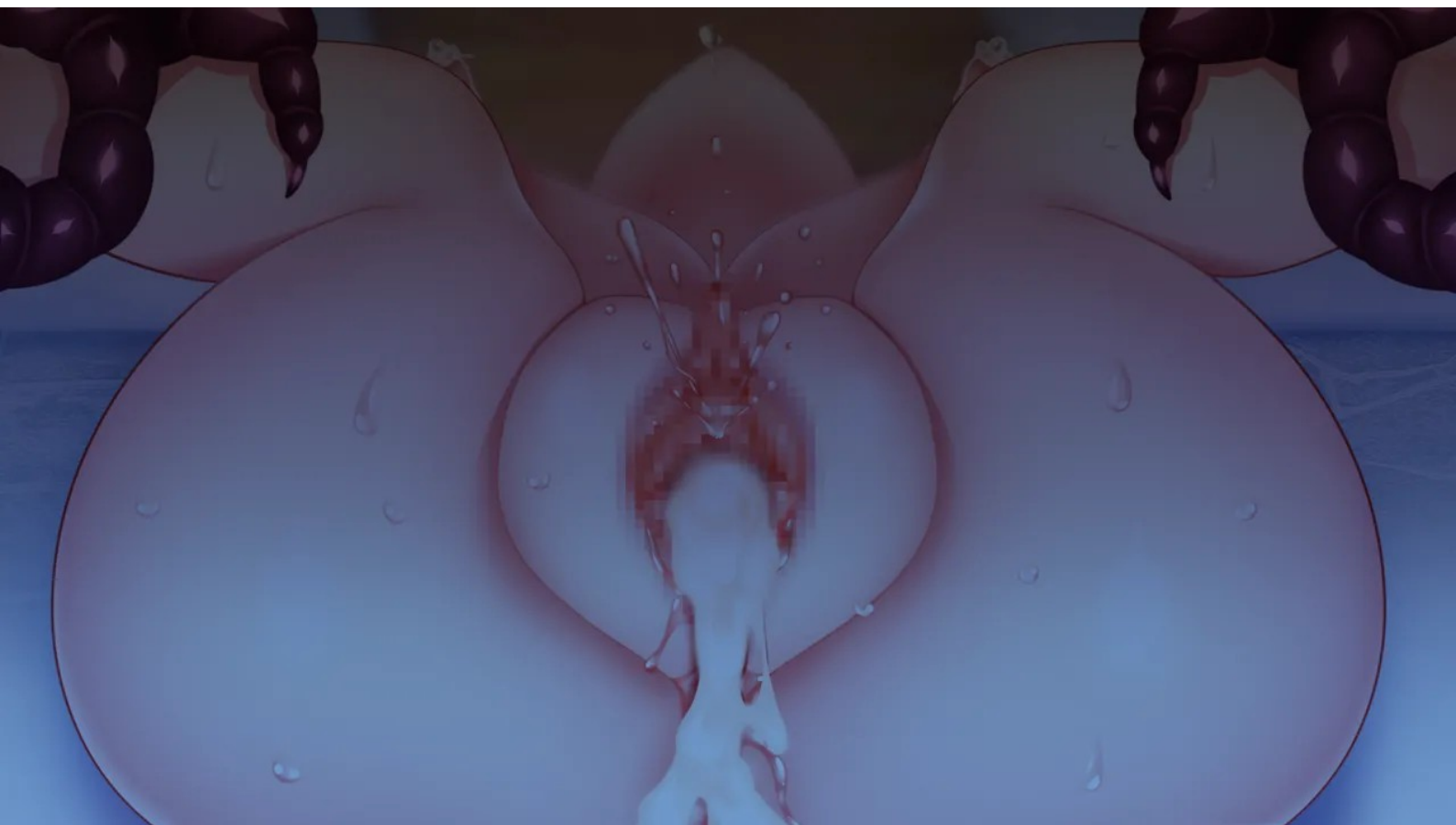












製作・OneDlica
イラスト&シナリオ・Maromi